



第 81 号

〒910-0003 福井市松本4丁目8-4

福井市PTA連合会
広報委員会

TEL (0776) 26-4058
FAX (0776) 26-4358

E-mail: fcpta@mx4.fctv.ne.jp
URL <http://www.fukuicity-pta.com>

平成25年度スローガン

子どもたちの笑顔のために！ 広げようPTAの輪

福井市PTA連合会会長挨拶

会長 水島 秀晃



日頃よりPTA活動、および子どもたちの育成に温かいご支援・ご鞭撻を賜っておりますこと心より感謝申し上げます。

今年度、私たち福井市PTA連合会では『子どもたちの笑顔のために！ 広げようPTAの輪』を活動スローガンに掲げ、基本となる単位PTA活動の活性化を支援するとともに、これまで行ってきた継続的の事業に加え、新たに「いじめ問題への取り組み」「学校図書支援」「被災地支援」といった連合会だからできることを果たすべき使命として努めて参りました。

なかでもいじめ問題への取り組みとして「第一回いじめ防止標語・親子メッセージコンクール」を開催し、3000通を超える応募を頂くことが出来ました。応募頂いた作品はどれも素晴らしい、家庭教育の質の高さを感じることができました。

また、福井市PTA研究会では「尊敬される親とは」をテーマに「親学」の第一人者である高橋史朗氏をお招きし、講演、パネルディスカッションを開催しました。

「子どもは存在それ自体が宝」、「親は子の鑑、子は親の鏡」など、多くの学びをいただき、参加して下さった方からは「親として貴重な学びの時間となった」など感動の声がたくさん寄せられました。

人のために何かしたい、人の役に立ちたいと思いがながら、なかなか時間や機会に恵まれず、それでも機会があればと思ってしまう方は多いと感じます。

それは、決して難しいことではなく、自分に出来ることを、出来る時に思っていたかどうかと変わると思います。

PTAに携わり、いきいきと、そして楽しんで活動していらっしゃる多くの方の笑顔からそう感じます。

『子どもたちの笑顔のために』すべての皆様の力が必要です。皆様のなお一層のご理解とご協力を賜りますことを心よりお願い申し上げます。

お願い申し上げます。



平成25年度 福井市PTA研究大会



開 催 : 11 月 30 日 (土)
会 場 : 福井県商工会議所 (地下コンベンションホール)



今年度の福井市PTA研究大会は、『紡ぐ』と尊敬される親とはをテーマに開催されました。福井市内の小中学校のPTA会員215名が福井商工会議所(地下コンベンションホール)に集いました。

日々の暮らしの中で、手探りしながらも親子で共に成長していることとしていらっしやることと思います。

親が親として、人として、子どもとどう向き合っていくことが大事なのか。つい子どもにばかり求めてしまう自分を見直して、今一度「尊敬される親とは」を見つめ直していきたい。そのような思いから、「親学」の第一人者である高橋史朗氏をお招きして基調講演、パネルディスカッションを開催いたしました。

◆開会式あいさつ

福井市PTA連合会会長 水島秀晃
福井市教育委員会教育長 内田高義様

◆表彰式『第一回いじめ防止標語・親子メッセージコンクール』

基調講演 『親が変われば子どもも変わる』
講師：高橋史朗氏

◆パネルディスカッション

『尊敬される親になるためには』

◆閉会式



高橋史朗氏 親学推進協会会長 明星大学教授



文部科学省訪省・対談

去る7月19日に福井県を代表して福井県PTA連合会副会長の水島秀晃会長と、同じく福井県PTA連合会副会長の佐々木敦子特別委員長が文部科学省生涯学習政策局社会教育課課長の坪田知広氏と対談をさせていただきました。

【いじめ問題】について 昨今のいじめ問題に対して各PTAでも様々な取り組みを行っています。先生方、保護者が信頼しあい、連携して大切な子どもたちを守っていかねばならないと考えています。いじめをなくすにはどのようにしていったらよいとお考えでしょうか。

坪田課長の回答

学校現場では「いじめ」と認識してはいるながらも、放任している傾向があります。それは「いじめ」と認めてしまうと自分の評価が下がるという意識が大きく働いているからです。文科省では「いじめ」があったことで「マイナスの評価はしない」と通達しております。学校長が積極的にいじめを見つけた先生を褒めたたえるくらいの姿勢で、前向きに解決していくことが必要です。「いじめ」があったことは決して「マイナス」ではなく、その問題を見つけた解決することに「よい評価」をしていくという意識を教育者・保護者を筆頭に社会全体で共有していくことで「いじめ問題」は解決していくと考えます。

【土曜日授業】に関して 現在の5日制の授業で内容が足りないと考ええる保護者は学習塾などで対応しています。塾に行かない子どもたちとの学びの格差が生じているのが現状です。先生方のご負担や経費の問題などがあるとありますが、義務教育であるからには学校で充実した平等な学びを受けてほしいと考えます。「土曜日授業」の実施についていかがお考えでしょうか。

坪田課長の回答

「土曜日授業」「週6日制」は、各県・各自治体にお任せされていて、文科省から縛りはつけておりません。これが一番よいという明確な答えはないと考えます。都会では土曜日に子どもたちが塾で缶詰めになり、結局子どもや親の負担ばかりが増えていくことに対して保護者から切羽詰った要望が多く出された結果、多くの学校で週6日制を導入しております。そういった声があがってくるのが重要ですね。



平成25年度 市長・教育長と語る会

開催：11月1日(金)
会場：福井市体育館

◆学校施設・設備の充実と活用について 【発言者：宇佐美嘉一副会長】
【市長回答】 地震時の第一避難所は学校です。避難所には、防災備蓄倉庫と非常用貯水装置があり災害用のマンホールも一部設置されています。防災備蓄倉庫には1台の発電機が配置されており、約1時間の発電が可能です。太陽光発電設置には蓄電池が必要で、非常用電源としての活用にはまだ不十分です。さらに、福井の場合、校舎の積雪加重構造上、屋上に太陽光発電が設置できません。また天井部分の天井材、照明器具、吊り上げバスケットゴールに関して、天井材については基本的に撤去、照明器具についてはワイヤー導入落下防止、吊り上げバスケットゴールについても撤去または落下防止策を対応策を定めています。耐震補強の必要があると認められるところは耐震工事と併せて行い、工事が終わる平成27年度末までには終了予定です。

◆いじめへの対応と道徳教育の取り組みについて 【発言者：佐々木敦子特別委員長】
【教育長回答】 福井市では、平成22年にいじめの対応マニュアルを作成し、昨年、問題行動等の対応マニュアルを各学校で作成しています。いじめられている子を学校はしっかりと守ることを基本姿勢に据えています。具体的な取り組みとしては「未然防止」「いじめの早期発見」「いじめの発覚時の対応」の三点です。実際の現場でどのように機能しているかですが、学校では職員以外にスクールカウンセラー、教育相談の担当者、場合によってはスクールソーシャルワーカーが、時には教育委員会が間に入る場合もあります。最終的には、保護者、その子どもとの信頼関係が重要となり、問題行動やいじめも含めて話し合いによって解決を図っているのが実情です。

次に、道徳教育についてです。道徳は道徳の時間だけではなく、学校の教育活動全体の中で実施と学習指導要領に示されています。最近、授業参観で道徳を行う学校も多くなっています。
【市長回答】 子どもの発達に合わせた題材が当然大事ですが、大人が規範行動を示すことが最も大切であり、基本ではないかと思えます。
◆教師の多忙化解消と学校週6日制の取り組みについて
◆今後の外国語(英語)教育の取り組みについて
◆特別支援へのサポート体制について
◆学校給食における食物アレルギーへの対策について
以上、6項目の提言に回答を頂きました。



大会実行委員会

出蔵稔夫委員長
(西藤島小)

11月30日(土)、福井県商工会議所(地下コンベンションホール)にて『福井市PTA研究大会』が開催されました。

主な内容として、「第一回いじめ防止標語・親子メッセージコンクール」の表彰式、「親が変われば子どもも変わる」と題して高橋史朗先生による講演会、「尊敬される親になるためには」をテーマにパネルディスカッションをおこないました。

高橋先生の講演では「育児とは本来、自分を育てる育自でなければならぬ」など親としての在り方を学ばせてもらいました。

アンケートからも「とてもわかりやすく、かつ考えさせられるお話で勉強になった」「親として何ができるか学びたい」「夢を持ち、子どもと一緒に育っていききたいと感じた」など、前向きなだけでなく、何か一つでも実践したいという意欲が伝わってくる内容のものが多かったのが印象的でした。

その後のパネルディスカッションは高橋先生にもご参加いただき、たいへん身になる研究大会となりました。

駐車係をはじめ裏方で頑張っていた委員の皆様、本当にありがとうございました。



家庭教育委員会

上田一史委員長
(川西中)

家庭教育委員会では、今年度もEブロック各校のご協力をいただき、児童や生徒が自分でメニュー考案から調理までを行う「マイ弁当」に取り組みました。

今年度は新たな取り組みとして、「地産地消」の要素を取り入れてみました。近年はショッピングセンターなどでも「地産地消」コーナーが多く設置されており、また、学校でも「食育」の実践に力を入れていただいているので、地元の食材を身近に感じられる機会も増えています。子ども達が自ら「地産地消」について考える機会はまだ少ないように思います。今回、自分でつくる「マイ弁当」にこの要素を取り入れることで、「地産地消」に向き合うきっかけのひとつになってくれればと考えました。

アンケートの結果を見ると、子ども達なりに様々な工夫をして弁当づくりに取り組んでくれたことがわかります。小さいお子さんは自分の好きなものをたくさん入れて、高学年のお子さんは海苔やニンジンなどを色々な形に切ってかわいらしく、中学生は栄養のバランスや彩りも考えて…。また、保護者の方は「自分でつくる方がラク」だったと思いますが、お子さんの成長を実感して喜ぶ声が多く聞かれました。おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に収穫した野菜などを使ったという声も多く、普段から「地産地消」に取り組んでいるご家庭が多いこともわかりました。アンケートの結果や写真などは市PTAのホームページよりダウンロードできますのでご覧ください。

子ども達の健全な成長に欠かせない「食」について、自ら考え実践する機会として「マイ弁当」は非常に有効な手段であり、食材や生産者の方への感謝の気持ちも繋ぎます。ぜひみなさんの学校でも「マイ弁当」に取り組んでみてはいかがでしょうか。



学校教育委員会

伊藤昌継委員長
(足羽中)

特別支援教育セミナー「障害の有無にかかわらず、子ども達が健やかに生きる共生社会をめざして」(親としてできることを考える)

第1部 音楽でつなぐ共生社会
大谷省二先生(足羽学園教職員)

第2部 特別支援教育の現状と課題
「わが子を通して思うこと」

12月7日(土) 福田晋介先生(福井県発達障害支援センター長) 美山木ころろ文化ホール

当委員会では、右記のセミナーを開催いたしました。社会福祉法人足羽福祉会のご協力を得まして、第一部では足羽更生園の皆さんによる音楽発表、大谷先生による音楽療法の話と歌、第二部では、福田先生に就労支援の難しさ、障害を持つ子どもの親としての経験などをお話しいただきました。いずれも、今後の特別支援教育の取り組み方、障害を持つ子どもをどう育て、接していったら良いかなどの指針となるすばらしい内容でした。

昨今、障害を持つ子ども普通学校へ通わせたいという気運が高まっております。ようやく就学規則も改正されました。しかし、いまだ様々な問題があるのが現状です。私たちは、そういった問題が解消され、すべての子ども達が明るく笑って暮らせることを願っております。偏見や誤解のない社会、「心のバリアフリー」を広げていき、そのきっかけとなるメッセージを、当連合会から発信し続けていけたらと考えております。

最後に、お力添えいただきました方々に御礼申し上げ、委員会報告とさせていただきます。



地域教育委員会

松本友和委員長
(清水北小)

『地域教育力向上プログラム』（アントレキッズ）

福井商工会議所青年部の協力を得て、平成26年2月8日に社西小学校にて社西小6年生68名に地域企業6社による授業が行われました。企業の方が講師となり、働くことの社会的意義や、大変さおもしろさなどを伝える授業をしていただきました。

話だけでなく体験を交えながらの授業に、子どもたちは目を輝かせていました。当日は、保護者の方々も地域企業の授業に聞き入っておられました。

参加いただいた企業、授業を受けた子どもたち、お手伝いいただいたBブロック各校のみなさまからは、地域と教育をつなぐ上でとても有意義な事業で今後もぜひ続けて欲しいという多くの声が寄せられました。



総務委員会

上野みずほ委員長
(進明中)

◆行政への要望

本年も「市長・教育長と語る会」を開催しました。行政及び福井市PTA連合会常任理事が参加し、学校施設や設備の充実、いじめと道徳教育、教師の多忙化解消、外国語教育、特別支援へのサポートなどについて意見交換を行い、現在の問題点等を行政の方々に認識をして頂きました。最後は学校給食についてフリートークを行い、自分たちの頃の給食と現在の違いを和気あいあいと言っていました。

教育現場などの実情を把握して頂ける絶好の機会だけに、今後も福井市PTA連合会が中心となり、色々な角度から行政に要望できるように、様々な情報を集め、取りまとめたいと思います。
(詳しくはホームページをご覧ください)

◆親子ふれあいステージの開催

去る1月18日(土)、フェニックスプラザにおいて開催しました。当日は「中国雑技団」の華麗な演技や、「税金クイズ」などで盛り上がりました。当日は早くから並ばれていたご家族の方も多く、2回の公演で約1600名の方が来場されました。

◆常任理事会の運営

毎月一回、常任理事会を開催しています。役員相互の意思疎通および親睦を図り、福井市PTA連合会を盛り上げていきたいと思っております。



特別委員会

佐々木敦子委員長
(附属中)

今年度、特別委員会では「いじめ問題」「学校図書支援」「被災地支援」に取り組んでまいりました。「いじめ問題」については、別稿のとおり「第一回いじめ防止標語・親子メッセージコンクール」を実施いたしました。「学校図書支援」については、福井市内の小中学校6校に図書購入補助をいたしました。

また今回、「被災地支援」の一環として、1月18日開催の福井法人会様との共同事業「親子ふれあいステージ」の際に図書回収、即売会を実施いたしました。

当日はご家庭にある図書をお持ちいただき、回収した図書を販売させていただきました。初めての試みでしたが、子どもたちが楽しそうに絵本を選んでる姿やたくさん笑顔に心が温かくなりました。皆様のご協力のお陰で105,700円もの収益がありました。収益金はすべて被災地の子どもたちに送らせていただきます。

なお残りしました図書は、福井市内の障害者施設に寄付させていただきます。今年度、特別委員会では新しい取り組みを行ってまいりました。皆様の温かいご支援ご協力に心から感謝いたします。ありがとうございました。

被災地支援事業へのご協力のお願い

私たち福井市PTA連合会では、「被災地支援事業」のひとつとして、ご家庭で眠っているあるいは不要になった図書をご提供いただき、その図書を販売することで、図書資源の有効活用を促すとともに、その収益のすべてを被災地の子どもたちの支援に役立てるという事業を行っております。

この度皆様からご提供いただきました図書の販売による収益は、全額義援金として被災地に送らせていただきます。

被災地の子どもたちの笑顔のために、お一人でも多くの皆様温かいご支援をいただけますようお願い申し上げます。

福井市 PTA 連合



Aブロック

小谷浩永ブロック長 (宝永小)
見奈美ひろみ女性代表 (宝永小)

【福井城址 お堀の灯り】地域教育力活性化事業
開催：7月20日(土) 会場：福井城址・周辺散策路

今年で4回目となる「お堀の灯り」は、築城以来の往時を偲び、空襲や震災で命を落とした人々を鎮魂するものです。順化小学校児童の将来の夢をしたためた手作り灯籠がお堀外周を飾りました。子どもとPTAが参画することは、町の活気につながります。今後、地区のイベントに貢献し、文化を親子で楽しむ時間を大切にしたいと思います。

【トリプルソフトバレーボール】Aブロック交流事業
開催：9月22日(日) 会場：宝永小学校
優勝 宝永小学校 親睦を深めました。

【ふくいキャリア教育フォーラム2013】Aブロック共催事業
開催：11月17日(日) 会場：福井県産業情報センター
講師：生重幸恵氏

◆基調講演：「地域資源を活用したキャリア教育の実践」
バランスのとれた筋力や考える力に身にづく自然遊びや体験活動の場を構築すべく、地域の大人が教育力を集結させることがとても大切だと感じる事ができました。

◆活動報告：至民中・明倫中・光陽中の生徒が職場体験活動の報告を行いました。学校、経済団体、行政、保護者の方々には一層に携え合っていただき、子ども達に質の高い体験と学びの場をより多く提供していただきたいと思っています。

【養浩館ライトアップ】地域教育力活性化事業
開催：3月15日(土)、16日(日)
会場：養浩館



Bブロック

川上正和ブロック長 (清水東小)
竹内 泉 女性代表 (清水東小)

【夏季研修会】
開催：9月14日(土)
会場：福井市きらら館(福井市風巻町)

講師：福井市消防局 清水分署 松浦治和氏
南消防署・清水分署の救急救命士の皆様
講習会：「いざ、という時の準備できていますか？」

命を守る、家族を守る、地域を守る

今年、今年度は地域教育委員会と共催いたしました。体験型の研修として講習会と緊急時における応急処置の実技指導を受けました。災害時の準備物を資料、映像にて丁寧の説明していただきました。また、実技指導ではAEDによる心肺蘇生法、使用方法、三角巾を用いた応急処置法を参加者全員が体験しました。

Bブロックでは23年度にも同研修会を実施しておりますが、「2年から3年に1度は講習を実施し、再確認をすることが重要である」と説明を受けました。今後、この講習会を機会に各校と地域に広めていく意味では大変良い研修会となりました。

【親善スポーツ大会】

開催：11月17日(日) 会場：社西小学校
競技：ステイックリング(福井発祥)
参加者：Bブロック17校194名

ステイックリングで交流を図るとともに、国の重要無形民俗文化財である陸月神事に関する祭りの状況を清水西小学校の方々に紹介していただきました。

地域の特色も学ぶ有意義な大会となりました。



Cブロック

廣部勝宏ブロック長 (豊小)
鷺山貴子女性代表 (酒生小)

【三世交代交流会】

平成26年2月9日、豊公民館において、落語を聞いてみんなで楽しもうと「はやおき亭貞九郎さんの落語会」を開催し、未就学児の親子や地域の年配の方々など、幅広い年齢層の方々約百人が集まりました。子どもが生まれてから、絵本や人形劇、落語に目覚めた貞九郎さん。この日の最初の囃は「忍者ごっこ」。就学前の子どもたちと貞九郎さんとの思い出を落語にしたものです。忍者となって立ち向かってくる子どもたちと貞九郎さんのやり取りが会場の笑いを誘いました。

この日は、小学校低学年や就学前の子どもたちも多かったのですが、そんな小さい子どもたちにも一番受けが良かったのは腹話術の「あいちゃん」です。貞九郎さんのできた待望の女の子で、この日のお話は「つるの恩返し」。ちょっと生意気な小学1年生のあいちゃんとお貞九郎さんのコミカルな掛け合いは、しっかりと子どもたちの笑いのツボを掴みました。このほか、「動物園」や「子ほめ」といった古典落語も公演。また、貞九郎さんが朝四時半から作ったというパンも休憩時間に親子で食べました。

三世交代同居が多い福井ですが、子どもたちからおじいちゃん・おばあちゃんまで、家族みんなで昔ながらの落語や腹話術で笑う時間が増えるといいですね。



Dブロック

長田光広(森田小) 松羅美幸(女性代表) (森田小)

【小中学校連携会議】

昨年のDブロック13校の意思疎通を目的とした「小中学校連携会議」は大変に意義深く、相互の信頼を深めることができました。本年度もこの事業を継承させていただきました。

春の13校PTA会長会議にて、各中学校区内の小学校会長及び役員の集いを要請いたしました。中学校PTA会長が中心となり自由闊達に意見を述べ合います。これが、情報とおもいを共有していただく「タテ連携の会」です。また問題点や提案等を集め、会議にて本年度の方向性を検討いたしました。

秋にはいただいた貴重なご意見や課題を題材に各小学校PTA会長会議と各中学校PTA会長会議からなる「ヨコ連携の会」を開催いたしました。ブロック内の各小中学校PTAに様々な問題があることを認識したり、他校の秀でた取り組みに刺激される事もありました。当初の目的を昇華し期待以上に地域の可能性が高まったと実感しております。また、会長会議は各学校の持ち回りで開催をし、他校の雰囲気を感じていただく事ができました。

次年度以降も連携を重ね、Dブロックの協同事業開催への一助となることを願っております。

また、郷土に誇りをもつ子どもたちが成長する糧となるようにしていきたいと思っております。



Eブロック

丸山裕紀男(鷹巣小中) 山本まり(女性代表) (鷹巣小中)

【研修会】

開催：9月14日(土) 講師：五日市剛氏
演題：素晴らしい人生をつくる魔法の言葉

- (1) 怒らないこと (2) 怒ると叱るとの違いとは
 - (3) 自分にありがとうと言う (4) 嫌なことは重ならない
 - (5) リラックスすると集中力が上がる
 - (6) 魔法の言葉「感謝します」「ありがとう」
 - (7) 先ず先の事を口に出して言う 実現する
- ツライときにも「ありがとう」「感謝します」で物事は善い方向に向かっていくとのこと。今後の人生を前向きな気持ちで進む指針にしていきたいと思えます。

【母親研修会】

開催：9月28日(土)
内容：「パパッとCooking教室」(地産地消の食材を使った料理)

子どものカラダに良い『手作り料理』を食べさせたいが、時間がないというお母さんにもできるうえ、お母さんの肌を美しく保つ地産地消の食材を使った簡単出来る料理を作りました。

★とりムネ肉のらっきょうのタルタルソースがけ

★さきいかとアーマンドの洋風炊き込みご飯等6品
参加者の方々からは、地産地消の食材に興味がありました。「食」に対して意識が高くなった、との感想をいただきました。レシピ本も作成いたしました。

【ソフトボール大会】

開催：11月10日(日)
優勝：大安寺幼小中PTA Eブロック内の全校が参加
親睦がはかれたと思います。ありがとうございました。



Fブロック

山口由美(福井小) 東郷京子(女性代表) (下宇坂小)

【子育て懇談会「ほやほやわいわい子育てトーク」】

開催：7月31日(水)
会場：福井市木こころ文化ホールおよび美山公民館

子どもたちの健全な育成を図ることを目的に開催しました。全体研修会の親子ヨガに県子育てマイスターを招き、親子のスキンシップや疲れた体をほぐすエクササイズを教えてくださいました。アンケートでは「全員で輪になることができた」「子どもと一緒にスキンシップができた」「自分をほめるって大切だ」などの意見が寄せられ、満足のいく結果となりました。

地域懇談会に於いては、市の託児事業「ちくたくサポーター」を配置し、乳幼児がいる方にもお越しいただけるようになりました。児童、生徒はバリンアートで楽しんでもらい、その間に保護者は地域の方々をオプザバーに迎えて8グループで懇談を行いました。子育ての悩みや子育て環境の現代的な課題について、有意義な会話ができました。

「いろいろな年代の方に、日頃は相談できないことを話せた」「ネット社会の怖さを知った」などの意見が寄せられました。

【研修会「そば打ち体験」】

開催：11月9日(土) 会場：みやま長寿そば道場
親子で参加される方も多く、終始和やかに進行しました。

今後もPTAと学校・地域が一体となり、子どもたちの将来について考える機会を持ちながら、地域と共に生きるPTAづくりに取り組んでいきたいと思っております。



「第一回いじめ防止標語・親子メッセージコンクール」

特別委員会 佐々木敦子委員長（附属中）

今年度、福井市PTA連合会では、いじめ問題への取り組みを行っております。いじめ防止活動の一環として「第一回いじめ防止標語・親子メッセージコンクール」を実施させていただきました。今回のコンクールに3112通ものたくさんのご応募をいただきました。どの作品もいじめをなくしたいという親子の思いが込められた、素晴らしい作品でした。優秀作品は、各学校に掲示させていただいております。子どもたちのいじめ防止に対する意識と行動が育まれる事を切に願います。

◆受賞作品◆ 受賞おめでとうございます

会長賞

いじめゼロ やさしい心 そだてよう

六条小 二年 木谷 きたに
附属中 一年 山本 りん

月音さん
竜斗さん

教育長賞

かけようよやさしいことば やめようねちくちくことば

松本小 一年 竹内
大東中 三年 谷口

心晴さん
ほの香さん

福井新聞社賞

いじめたら いじめられるよ やさしくしたら やさしくされるよ
いじめ0（ゼロ） みんなの気持ちで明日を変える

東安居小三年 三崎
明道中 三年 中村

周平さん
文香さん



これからも みんな なかよし



木谷 月音 ちゃん

わたしは「いじめゼロ やさしい心 そだてよう」というひょう語を作りました。お父さん、お母さん、おねえちゃんといっしょに考えて作りました。

私のクラスは11名です。みんなとてもなかよしです。こまっているとみんなが声をかけ合います。とてもすてきな学校です。お友だちのことをかなしませるいじめはしたくないし、大すきなお友だちにもしてほしくないです。これからもいじめがなく、みんながなかよしで力いっぱいあそんだり、たくさんおべん強したいです。

平成25年度 福井市PTAいきいき事業奨励金
最優秀校 長橋小学校 10万円
優秀校 鷹巣小中学校 3万円
おめでとうございます

平成25年度 福井市PTA連合会 この一年

- 平成25年 4月 理事予定者会議（25日）
- 5月 福井市PTA年次総会（18日）
- 福井県PTA年次総会（25日）
- 6月 第1回常任理事会（11日）
- 福井・永平寺ブロック地区別研修会（29日）
- 7月 第2回常任理事会（18日）
- 日本PTA全国研修大会
- 8月 東海北陸ブロックPTA研究大会（ともに23・24日）…三重県
- 9月 第3回常任理事会（28日）
- 第4回常任理事会（17日）
- 10月 第5回常任理事会（15日）
- 福井県PTA研究大会（26日）
- 11月 市長・教育長と語る会（1日）
- いじめ標語審査会（9日）
- 第6回常任理事会（26日）
- 福井市PTA研究大会（30日）
- 第1回いじめ防止標語・親子メッセージコンクール表彰式（30日）
- 平成26年 12月 第7回常任理事会（19日）
- 「親子ふれあいステージ」（18日）
- 被災地支援・図書即売会（18日）
- 2月 第8回常任理事会（29日）
- 第9回常任理事会（28日）
- 3月 広報紙「ひろがり」（第81号発行）
- 第10回常任理事会（予定）
- 4月 新年度オリエンテーション（29日）
- 第11回常任理事会（予定）
- 新旧常任理事会（25日）

■ 編・集・後・記 ■
役員たちが、会員の皆様や子ども達と近い存在でいようと、新しい試みに臨んだ一年でした。広報でそのおもいがお伝えできればと思います。発行にあたりご協力頂きました皆様に心から感謝いたします。

広報委員長 佐藤慶子（旭小）